

ご案内

1. 会期：2019年10月26日（土）～ 10月27日（日）
2. 会場：くまもと県民交流館パレア 会議室1（テトリアくまもとビル9階）
3. 受付：2019年10月26日（土）12時00分よりくまもと県民交流館パレア 会議室1
4. 会費：当日、受付にてお支払いください
参加費：一般2,000円、学生無料
懇親会費：一般3,000円、学生2,000円
5. 発表：口頭発表のみ、発表10分、質疑応答2分（計12分）
6. 発表データ：当日、会場にて受付
Microsoft PowerPointで作成してください。Mac版には対応していません。
必ず事前の動作確認をお願いします。当日使用のコンピュータは、OSがWindows10、ソフトはMicrosoft PowerPoint 2013以降に対応しています。
7. 評議員会・運営委員会：2019年10月26日（土）12時00分～13時00分
くまもと県民交流館パレア 会議室9（テトリアくまもとビル9階）
8. 懇親会：2019年10月26日（土）18時30分より
会場：居酒屋 ひゃくしょう茶屋 下通店 <https://hyakushou.owst.jp/>
9. 衛生動物学会誌掲載用抄録：
「衛生動物」カテゴリでの発表者は、別に衛生動物学会誌「衛生動物 Medical Entomology and Zoology」掲載用の抄録を提出していただく必要があります。下記のサイトから書式をダウンロードしてご利用ください。
大会受付時に、作成した抄録データをUSBフラッシュメモリで提出してください。
<https://server51.joeswebhosting.net/~js4308/ja/archives/3030>
10. その他
 - ・クロークの準備はありません。荷物の管理は各自でお願いいたします。
 - ・学会1日目の10月26日（土）に、特別講演を市民公開講座として開催いたします。

市民公開講座「身近な人獣共通感染症」

- 【日時】 2019年10月26日（土）16:00～17:30
- 【場所】 くまもと県民交流館パレア 会議室1
- 【内容】 「身近な致死性感染症 重症熱性血小板減少症候群」
岡林環樹 先生（宮崎大・農・獣医・獣医微生物学）
「鶏肉の生食とカンピロバクター食中毒」
三澤尚明 先生（宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター）
「トキソプラズマ症を疑うとき、診断したとき」
山元佳 先生（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター）
- 【共催】 日本寄生虫学会南日本支部会、熱帯病治療薬研究班（AMED）、宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター 人獣共通感染症教育・研究プロジェクト

会場へのアクセス

くまもと県民交流館パレアには提携駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用ください。

【JR 熊本駅から】

- ・市電：23分（「水道町」電停下車）
- ・熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：17分（「水道町」バス停下車）、15分（「通町筋」バス停下車）
- ・タクシー：15分

【熊本桜町バスターミナル（旧熊本交通センター）から】

- ・市電：11分（「辛島町」電停乗車～「水道町」電停下車）
- ・熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：8分（「水道町」バス停下車）、6分（「通町筋」バス停下車）
- ・タクシー：5分

【熊本空港から】

- ・九州産交バス（空港専用リムジンバス）で40分、「通町筋」バス停下車

【九州自動車道】

- ・益城熊本空港インターチェンジから 車で30分（約7.5km）
- ・熊本インターチェンジから 車で30分（約7.8km）



**第 72 回日本寄生虫学会南日本支部大会・第 69 回日本衛生動物学会南日本支部大会
合同大会日程**

第 1 日目		10 月 26 日 (土)		第 2 日目		10 月 27 日 (日)	
12: 00 ~ 13: 00		評議員会・運営委員会					
13: 20		開会		9: 00		開場	
13: 25 ~ 14: 01		寄生虫 1 (座長: 長田良雄) 井上信一 松尾智英 見市文香		9: 15 ~ 10: 03		寄生虫 3 (座長: 濱野真二郎) 佐倉孝哉 Phoo Pwint Ko 長安英治 前田安信	
14: 01 ~ 14: 37		寄生虫 2 (座長: 由井克之) 田中美緒 Duong Duc Hieu 正谷達膳		10: 03 ~ 10: 51		寄生虫 4 (座長: 吉田彩子) 原樹 Md. Abu Musa 丸山治彦 菊地泰生	
14: 37 ~ 14: 50		休憩		10: 51 ~ 11: 00		休憩	
14: 50 ~ 15: 38		衛生動物 1 (座長: 川田均) 島崎慧 山田智大 福田昌子 二見恭子		11: 00 ~ 11: 48		衛生動物 2 (座長: 田仲哲也) 荻野和正 山口光 皆川昇 砂原俊彦	
16: 00 ~ 17: 30		市民公開講座 「身近な人獣共通感染症」 岡林環樹 三澤尚明 山元佳		11: 55 ~ 12: 25		総会	
18: 30 ~		懇親会		12: 25		閉会	

1 日目 (10 月 26 日土曜日)

12: 00 ~ 13: 00 評議員会

13: 20 開会

13: 25 ~ 14: 01 寄生虫 1 (座長 : 長田良雄)

寄生虫 1

マラリアによる $\gamma\delta$ T 細胞疲弊の誘導

○井上信一¹、Bayarsaikhan Ganchimega¹、Jian Jiun-Yua¹、Odsuren Sukhbaatar¹、Ntita Mbayaa¹、Tsogtsaikhan Sanjaadorja¹、木村一美¹、新倉保²、小林富美恵³、由井克之^{1,4}

¹長崎大・院・医歯薬・免疫学、²杏林大・医・感染症、³麻布大・生命環境、⁴長崎大・熱医グローバルヘルス

寄生虫 2

哺乳類宿主における *Eimeria* 属原虫の感染延長戦略

井上遼太¹、水野真伸¹、辻尾祐志²、松林誠³、畑井仁⁴、正谷達膳⁵、松井利博⁶、

○松尾智英¹

¹鹿児島大・共同獣医・寄生虫病、²鹿児島大・共同獣医・解剖、³大阪府大・獣医国際防疫、⁴鹿児島大・共同獣医・獣医病理、⁵鹿児島大・共同獣医・TAD、⁶清泉女子大

寄生虫 3

赤痢アメーバ“硫酸活性化”第二酵素を標的とする阻害剤の探索

○見市文香、Vo Kha Tam, Sharmina Deloer, 吉田裕樹

佐賀大・医・免疫学

14: 01 ~ 14: 37 寄生虫 2 (座長 : 由井克之)

寄生虫 4

住血吸虫症の新規伝播モニタリング法の検討 : ケニア Kwale 地区の学童における感染伝播状況調査と血中・尿中抗体検出

○田中美緒^{1,2}、森保妙子³、Evans Chadeka Asena⁴、Benard Ngetich Cheruiyot⁴、藤井仁人³、中村梨沙^{1,2}、金子聡^{3,4}、Cornelis H. Hokke⁵、濱野真二郎^{1,2,4}

¹長崎大・熱研・寄生虫学、²長崎大・医歯薬学総合研究科・熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム、³長崎大・熱研・生態疫学、⁴長崎大・熱研・ケニアプロジェクト拠点、⁵Dept. of Parasitol. Leiden Univ. Med. Center

寄生虫 5

Diagnostic applicability of luciferase-linked antibody capture assay (LACA) for the detection of anti-*Toxoplasma gondii* antibodies in chickens

○Duong Duc Hieu^{1,2}、Cornelia Appiah-Kwarteng³、Yasuhiro Takashima³、Khin Myo Aye^{4,5}、Eiji Nagayasu⁴、Ayako Yoshida^{1,6}

¹宮崎大・獣医・獣医寄生虫病、²Vietnam Nat. Univ. of Agricult., ³Dept. of Vet. Parasitol., Fac. of Appl. Biol. Sci., Gifu Univ. ⁴宮崎大・医・寄生虫 ⁵Parasitol. Res. Div., Dept. of Med. Res., Yangon, ⁶宮崎大・CADIC

寄生虫 6

鹿児島県の肉用牛における *Cryptosporidium parvum* および *Neospora caninum* 抗体陽性率調査

○正谷達膳、乙丸孝之介、石川真吾

鹿児島大学 共同獣医学部

14: 37 ~ 14: 50 休憩

14: 50 ~ 15: 38 衛生動物 1 (座長 : 川田均)

衛動 1

単為生殖系フタトゲチマダニ胚発生における鉄イオンの動態と抗酸化分子の局在

○島崎慧¹、Emmanuel Pacia Hernandez^{1,2}、新原博子¹、藤崎幸蔵³、田仲哲也^{1,2}
¹鹿児島大・共同獣医・感染症学、²山口大院・連合獣医、³農研機構

衛動 2

ランガットウイルスに感染したフタトゲチマダニにおける抗酸化分子の発現動態

○山田智大¹、Emmanuel Pacia Hernandez^{1,2}、新原博子¹、藤崎幸蔵³、好井健太郎⁴、
田仲哲也^{1,2}
¹鹿児島大・共同獣医・感染症、²山口大院・連合獣医、³農研機構、⁴北海道大・獣医学研
究院・公衆衛生

衛動 3

タイで採集された *Gomphostilbia* 亜属 *Simulium asakoe* 種群の 1 新種について

○福田昌子¹、大塚 靖²、Wichai Srisuka³、Atiporn Saeung⁴、高岡宏行⁵
¹大分大・全学研究推進機構、²鹿児島大・国際島嶼教育研究センター、³Queen Sirikit
Botanic Garden・Entomology Section、⁴Chiang Mai University・Faculty of Medicine、⁵マラヤ
大学・熱帯感染症研究教育センター

衛動 4

南アフリカ共和国東海岸におけるネッタイシマカの南限

○二見恭子¹、比嘉由紀子²、Vishan Lakan³、Rajendra Maharaj³、皆川昇¹
¹長崎大学・熱帯医学研究所、²国立感染症研究所・昆虫医科学部、³South African Medical
Research Council・Office of Malaria Research

市民公開講座「身近な人獣共通感染症」 16: 00 ~ 17: 30

身近な致死性感染症 重症熱性血小板減少症候群

岡林環樹 (宮崎大・農・獣医・獣医微生物学)

鶏肉の生食とカンピロバクター食中毒

三澤尚明 (宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター)

トキソプラズマ症を疑うとき、診断したとき

山元佳 (国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター)

18:30~ 懇親会

2日目 (10月27日 曜日)

9:00 開場

9:15 ~ 10:03 寄生虫3 (座長: 濱野真二郎)

寄生虫7

長崎県内で採取された海洋微生物を用いたマラリア原虫スクリーニング

○佐倉孝哉^{1,2}、稲岡健ダニエル^{1,2,3}、水上修作^{4,5}、平山謙二⁵、武田弘資⁶、田中義正⁶、北潔^{2,3}

¹長崎大・熱研・分子感染ダイナミクス解析、²長崎大・熱医グローバルヘルス、³長崎大・熱研・感染生化学、⁴長崎大・熱研・免疫病態制御学、⁵長崎大・熱研・免疫遺伝学、⁶長崎大・先端創薬イノベーションセンター

寄生虫8

First molecular identification of *Strongyloides vituli* in cattle in Japan

○Phoo Pwint Ko^{1,2}、Kohei Sakaguchi³、Ayako Yoshida^{4,5}、Haruhiko Maruyama^{1,5}、Nariaki Nonaka^{4,6}、Eiji Nagayasu¹

¹宮崎大・医・寄生虫、²ヤンゴン第一医科大・医・微生物、³宮崎県都城家畜保健衛生所、⁴宮崎大・農・獣医寄生虫、⁵宮崎大・CADIC、⁶北海道大・院・疾病制御・寄生虫

寄生虫9

ペルーのヒトおよびイヌ由来糞線虫の分子系統解析

○長安英治¹、Phoo Pwint Ko^{1,2}、Jorge Manuel Cardenas Callirgos³、Martin Montes⁴、Eduardo Gotuzzo⁴、森下和広⁵、丸山治彦¹

¹宮崎大・医・寄生虫、²ヤンゴン第一医科大・医・微生物、³APHIA (ペルー蠕虫・無脊椎動物研究会)、⁴カジェタノエレディア大、⁵宮崎大・医・腫瘍生化学

寄生虫10

Secretome analysis of *Strongyloides venezuelensis* identified soluble and insoluble proteins involved in its parasitism

Yasunobu Maeda¹、Juan Emilio Palomares-Rius²、Akina Hino³、Tanzila Afrin¹、Shakhinur Islam Mondal¹、Ayako Nakatake⁴、Haruhiko Maruyama¹ and Taisei Kikuchi¹

¹宮崎大・医・寄生虫、²Instituto de Agricultura Sostenible, Consejo Superior de Investigaciones Científicas (CSIC)、³東京医科歯科・医・国際寄生虫、⁴宮崎大・医・HTLV-1/ATL リサーチファシリテイ

10:03 ~ 10:51 寄生虫4 (座長: 吉田彩子)

寄生虫11

寄生虫と間違われやすい生き物について

○原 樹¹、早田克己²、三浦一秀³

¹久留米大・医・感染医学、²久留米臨床検査センター、³あさひクリニック

寄生虫12

Lymphocytes influence *Leishmania major* pathogenesis in a strain-dependent manner

○Md. Abu Musa^{1,2,3}、Risa Nakamura^{1,2,3}、Asma Hena^{2,3}、Sanjay Varikuti⁴、Hira L. Nakhasi⁵、Yasuyuki Goto⁶、Abhay Satoskar⁴、Shinjiro Hamano^{1,2,3}

¹Doctoral Leadership Program, Grad. School of Biomedical Sci., Nagasaki Univ. Dept. of Parasitol., NEKKEN, Nagasaki Univ., ³The Joint Usage/Research Center on Tropical Disease, NEKKEN, Nagasaki Univ., ⁴Dept. of Pathol., Ohio State Univ., ⁵Div. of Emerging and Transfusion Transmitted Diseases, FDA, ⁶Lab. of Molecular Imm., Grad. School of Agricultural and Life Sci., Univ. of Tokyo

寄生虫 13

人体芽殖孤虫症：全症例に基づく考察

○丸山治彦^{1,2}、菊地泰生¹

¹宮崎大・医・寄生虫、²宮崎大・CADIC

寄生虫 14

Genome analysis of *Sparganum proliferum* provides insights into the cryptic lifecycle and phylogeny

○Taisei Kikuchi¹, Dayi Mehmet², Yasunobu Maeda¹, Toshiaki Kuramochi³, Haruhiko

Maruyama¹

¹宮崎大・医・寄生虫、²Düzce University, Faculty of Forestry, Turkey、³国立科博・寄生虫

10: 51 ~ 11: 00 休憩

11: 00 ~ 11: 48 衛生動物 2 (座長：田仲哲也)

衛動 5

チャバネゴキブリを用いた忌避剤試験法検討と数種化合物の評価

○荻野和正、金澤保

産業医大・医・免疫学寄生虫学

衛動 6

福岡市内神社野外コンサートにおけるヒトスジシマカ対策・4年間の動向について

荻野和正^{1,2}、○山口光¹、下川智子³、堀江 陽一⁴、金澤保²

¹サニックス・研究センター、²産業医大・医・免疫学寄生虫学、³九州メディカル・バイオ本部、⁴RKB 毎日放送・制作局

衛動 7

ハマダラカを採集するための CDC ライトトラップとスプレーキャッチ法の比較

○皆川昇

長崎大学熱帯医学研究所

衛動 8

衛星画像を用いた市街地におけるヒトスジシマカのリスクマップ

○砂原俊彦

長崎大・熱研・病害動物

11:55 ~ 12: 25 総会

12: 25 閉会